

大磯地区 ちこちこ新聞

「大磯地区の魅力を発見しよう」

NO. 3 春号
2025.3

コ

「コミュニティスクール」耳慣れてきましたが、どういうことなのか？いまいちわからないなあ、が地域の正直な声のようです。

学校単位でまるっと地域ひとつにして、そこにいる幼児、児童、生徒は地域のみんなに育まれているという考え方なのです。

スクール側からはそのようにみえますが、コミュニティ側はどうでしょうか？

コミュニティ側も同じように子どもは地域で育むものと考えています。しかし地域は地区ごとやそれぞれの事情で活動しています。環境や人員など地区・企業・団体、様々で自分達の事で手いっぱいなのが実情です。その中で子どもたちへできることを工夫しながら実施されています。

つまり、みんなで子どもを育むという考えは同じなのです。コミュニティスクールとしてつながった関係になることは必要なんだと感じます。

それはガチガチにつながるのではなく、お互いができる事すでに実施している事をつなげあうことで、無理なく顔の見える間柄になっていくことが必要だと思っています。

無理なく顔の見える仕組みを作り上げる上で必要なのが、それぞれ様々な地域側がどのようにつながっていくのか？です。そこに登場するのが「地域学校協働本部」です。

チ

「地域学校協働本部」を令和7年度より立ち上げ、地域学校協働活動をどのように学校とつなげていくか、どのような仕組みにしていけるか、などを協議していくことになります。

学校運営協議会はすでに3年を終えて形になりつつあります。

これからは「地域学校協働本部」を柱にして、協議体制を整えていくことがコミュニティスクールとして望ましいと思います。

さて、地域をつなげるために地域学校協働本部を立ち上げるのですが本当に必要なのでしょうか？

前述でコミュニティスクールにおいては必要な存在です。

地域にとってはどうでしょうか？

もしかしたら会議の重複に感じるかもしれません。しかし様々な会議を見渡すと、立場が違う地域の方が子ども・学校をきっかけに、地域全体をひとつにした考えでの協議は存在していないと思います。

すべては「子どものために」みんなの想いはひとつに、地域の力が集結する協議体、地域の魅力を発見する協議体になると考えています。

みんなで子どもを育むために、みんなで知恵を出し合い、情報を共有できる新たな仕組みです。

「学校だけではできないこと」

「地域だけではできないこと」

の情報を共有して魅力ある活動に

することが望ましいでしょう。

地域の協議体「地域学校協働本部」と

学校の協議体「学校運営協議会」は

両方が備わって、子どもたちのために必要な存在になると思います。

学校は地域の「つながり」拠点



地域学校協働本部 と 学校運営協議会 をフル活用して

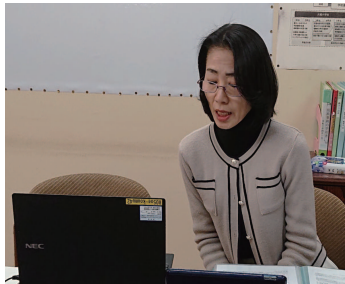
子どもも地域もおともも共に育み成長する大磯地区になるといいですね

コーディネートされた地域学校協働活動

大磯小学校

「心のやさしさを育む人と人のかかわりを学ぶ 10 分講話」

3 人の講師に全児童に向けてお話ししていただきました。年齢差の大きい相手にお話しするのは難しいのですが、わかりやすく心に届く言葉でお話しされ、とても有意義な時間でした。



大磯中学校

「職業調べ 地元企業とのアドバイザー交流」

12 の地元企業の方々に来ていただき自社について説明したり生徒の様々な質問に答えていただきました。現在の職業への授業に自分達の頃とは違うことに驚くとともに、とてもよいという感想でした。



ほかにも

大磯小学校 1 年生「昔遊び体験」で青少年指導員の方に昔遊び体験の先生をしていただきました。大磯中学校文化祭に器具の貸し出しなど、後半もできること依頼のあったことを活動してきました。

学校運営協議会の様子

大磯中学校

大磯中学校の学校運営協議会は、キャリア、安全安心、保護者の 3 つの分科会をつくり話し合いをしました。

私はキャリアの分科会でしたが、担当の先生より 2 年生の授業の取組みを聞き、こんなことできたいいいねといった「こんなこと」の話をグループのみんなで楽しくできました。学校の授業や文化祭などを協議員で見学しました。学校や生徒・先生の様子をみんなで知れることは協議するうえで、とても必要なことと感じました。

大磯小学校

大磯小学校の学校運営協議会は、和気あいあいな堅苦しくないメンバーで、和やかな中でも時に真剣に話し合いをしました。

私は会議の進行役でしたが、協議員からいろいろお話しがでて知れる機会となる会議でした。

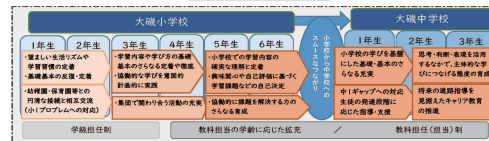
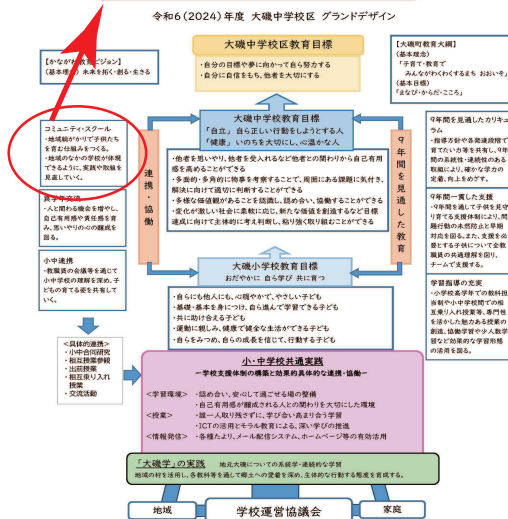
音楽会の見学など感動の場面も垣間見れ、成長の幅が広いことを体感し、小学校の楽しさと難しさがあると感じました。次年度は昼休みや授業なども見学して先生の話聞く機会があるといいと感じました。

大磯幼稚園

大磯幼稚園の学校運営協議会は、協議員と先生が会議をわかりやすく気兼ねなくみんなの意見が出せる工夫のある話し合いをしました。

私はオブザーバーでしたが、時折小学校・中学校の情報や様子を伝えました。保護者と先生が近い関係ということもあり、子育てに寄り添う気持ちを共有しながらも共に学ぶ姿勢を会議を通し感じました。

コミュニティ・スクール
・地域総がかりで子供たちを育む仕組みをつくる。
・地域のなかの学校が体現できるように、実践や取組を見直していく。



大磯中学校小学校つながった
学校グランドデザイン

グランドデザインは各学校幼稚園のホームページに掲載